

放射線治療科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 転移性肝腫瘍に対する陽子線治療の多施設共同後ろ向き観察研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属]

北海道大学大学院医学研究院連携研究センター陽子線治療学教室 教授 白土 博樹

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

兵庫県立粒子線医療センター 院長 沖本 智昭

[共同研究機関名・研究責任者名]

北海道大学大学院医学研究院連携研究センター陽子線治療学教室	白土博樹
札幌禎心会病院陽子線治療センター	晴山雅人
南東北がん陽子線治療センター	村上昌雄
筑波大学附属病院・陽子線治療センター	櫻井英幸
国立がん研究センター東病院放射線治療科	秋元哲夫
相澤病院 陽子線治療センター	荒屋正幸
静岡県立静岡がんセンター陽子線治療科	村山重行
名古屋陽子線治療センター	荻野浩幸
大阪陽子線クリニック	山本道法
福井県立病院陽子線がん治療センター	玉村裕保
兵庫県立粒子線医療センター	沖本智昭
兵庫県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター	副島俊典
岡山大学・津山中央病院共同運用 がん陽子線治療センター	脇 隆博
メディポリス国際陽子線治療センター	荻野 尚

[研究の目的]

複数の施設で転移性肝腫瘍に対し陽子線治療を受けた患者さんの治療結果を解析する事で転移性肝腫瘍に対する陽子線治療が有効な対象を明らかにすること。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

転移性肝腫瘍の患者さんで2001年1月から2016年12月までに当院で陽子線治療を受けている方

○利用するカルテ情報 2019年7月31日までのカルテ情報を利用する。

診断名、年齢、性別、原発巣に対する治療内容、検査結果（肝機能）

陽子線治療情報（総線量、回数、腫瘍の部位、サイズ、治療期間）

陽子線治療結果（有害事象、局所再発の有無、転移の有無、予後）

上記のカルテ情報は、治療結果の解析のために北海道大学病院で対応表により匿名化をし、CD-Rに記録を行う。兵庫県立粒子線医療センターにCD-ROMを郵送で送付します。送付されたのち、CD-Rはシュレッダー等で物理的に粉砕し遅滞なく破棄されます。

[研究実施期間] 実施許可日～2019年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院放射線治療科 担当医師 木下 留美子

電話 011-706-5977 FAX 011-706-7876